

訪問介護課

訪問介護課の事業の1つ「いずみの園ホームヘルパーサービス」は、1990年9月に開設し、今年で24年目を迎えます。措置の時代から介護保険制度の訪問介護へと変遷し、4年前の2010年4月には夜間対応型訪問介護「いずみの園コールセンター」を開始。2012年5月には定期巡回・随時対応型訪問介護看護「いずみの園コールセンター24時間サービス」を開始しました。



常勤スタッフです

「地域包括ケアシステム」の構築のため、在宅重視のサービスの定期巡回サービスは365日・24時間、短時間で複数回の訪問を行うことで「身体的・精神的・日常生活」の安心・安全が図れ、在宅生活での一人暮らしの方や要介護度の重度な方でも継続的なケアが実現するサービスです。また、訪問看護ステーションと連携した訪問看護サービスも受けられます。

「訪問介護課」は、常勤スタッフ11名、非常勤ヘルパー74名、合計85名のスタッフで、日中・夜間・深夜帯の訪問から緊急コールにも対応しています。



介護技術研修

スキルアップのため、マナー・接遇から介護技術研修まで、年間の計画を立てて研修を行っています。また、「介護福祉士」の取得率も54%で、質の高いケアの提供を目指しています。女性が多く、自分の資格や能力を生かしてステップアップできる職場です。

いずみの園コールセンター  
24時間サービス  
TEL: 06-79-85-0066

デイサービスセンターかきせ

「いずみの園デイサービスセンターかきせ」は、2003年6月に旧グレース保育園の建物を改装し高齢者のデイサービス事業と、障がい者への基準該当生活介護サービスを提供する事業所としてスタートしました。当事業所は、同敷地内に「児童クラブピーター」、「日中一時支援事業所マルコ」を併設しており、

子どもの遊ぶ姿や笑い声が聞こえ、夏休みや冬休みなどの長期休暇時には行事として交流会を行っています。子どもから高齢者まで幅広い世代の交流が図れるデイサービスです。作業療法士を配置し、ご利用者の在宅生活が継続できるように、自立支援に向けた、日常生活における基本的動作の訓練を身体状況に合わせて行っています。

定員25名で、ご利用者、ご家族のご希望がありましたら、時間延長、夕食のサービス提供も行っていきます。来年度は「福祉の里センターサマリア館」の事業開始に伴い、建物も一新する予定です。見学や体験利用など随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。職員一同心よりお待ちしております。



高齢者と子どもの交流の様子

「いずみの園デイサービスセンターかきせ」  
TEL: 06-79-26-0039  
FAX: 06-79-26-0081



スタッフです

作業療法士の活動について



デイサービス事業部  
中央サポートセンター  
中野 尚義

作業療法士(Occupational Therapist)とは、身体や精神に障がいのある人、またはそれが予測される人に対し、諸機能の回復、維持及び開発を促す作業活動を用いて治療、指導及び援助を行う専門職です。作業活動とは、仕事はもちろんのこと、遊びや日課、休息も一つの作業となります。すなわち私たちが普段生活を送っている全ての行動を指しています。

私が所属している「中央サポートセンター」では、住み慣れた自宅でその人らしい生活を続けることができるように支援を行っています。その人らしさとはそれぞれであり、対象者が抱えている悩みや困っていることは様々です。対象者の基礎疾患や障がいはもちろんのこと、自宅や周囲の環境等、幅広い視点から個々に適したリハビリプログラムの立案をし、実施しています。

通所サービスは在宅生活が基本にあります。そのため、施設内においてできることが増えても、自宅でできなければ意味を持ちません。しかし、現段階ではその点が十分行えていたとは言えません。出来る限り実際の生活場面に近づけて機能訓練を行うことが今後の課題であると感じています。

作業療法のゴールは施設・在宅を問わず、その人らしい生活が送れることであると考えます。一つ一つの作業活動を大切に捉え、ご家族・介護・看護・相談員等のスタッフと連携を行い、対象となる方がいつまでもその人らしい生活を送ることができるよう、より良いリハビリテーションの提供に努めていきます。



屋外での歩行訓練



# ボランティア交流会が行われました



2014年3月12日(水) 11時から、いずみの園「地域交流ホームいずみ館」において、「第19回いずみの園ボランティア交流会」が開催されました。この交流会は地域で活動している方々やいずみの園にボランティアとして関わっている方々から、日頃の労をねぎらうと共に、「これからもよろしくお願いします」との思いと感謝をこめて、またこうした機会に職員との交流も深めて頂ければと毎年1回開催しています。今年は57名のボランティアさんと職員15名の72名が参加して行われました。(2013年4月〜2014年2月末までのボランティア実員数1,005名)

まず当法人富永理事長から「常日頃の支援とご協力を感じるとともにこれからもよろしくお願いします」と挨拶があり、その後当園在宅支援サービス事業部熊井部長による「地域包括ケアシステムの構築に向けて」と、同事業部地域包括支援センター伊藤課長による「認知症施策総合推進事業について」の報告が行われ、ボランティアの方々には熱心に聴講していました。その後全員で会食しながら和やかな笑い声と共に、交流を深めました。ボランティアの皆さん、今後ともよろしく願っています。

(いずみの園研修センター)

## 「いずみの園」での1年間



前特養事業部介護課介護員

西倉 麻記

私は一昨年、全国の施設を見学する機会に恵まれました。その中で最も印象に残り、心惹かれたのが「いずみの園」です。いずみの園には私の探している何かがあると直感し、どうしても働きたい、と無理なお願いをして、私の一年間の期間限定の生活が始まりました。



最初は知らない土地での生活、聞き慣れない言葉、いずみの園独特の介助方法など、全てに戸惑っていました。せっかく来たからにはしっかり学んで吸収したい、という焦りもあり、余裕をなくしていました。余計なことは考えずに仕事に専念しようと思った頃から、目の前が開けていったように感じます。

「いずみの園」の素晴らしさは、個別ケアにあると思います。最初は何もしていないように見え、とても不思議でした。一人ひとりの生活のペースを大切に、寄り添い、一緒に過ごすこと。必要なことを見極め、気づく目を持ち、さり気ない気遣いと人を笑顔にする会話。歌は、歌いたい人が歌えば良い、眠たければ横になって休めば良い。本人に合った無理のない生活は、利用者を穏やかにしています。それに気づいたとき、雷に打たれたような気持ちになり、私の探しているものを見つけることができました。今、「いずみの園」での一年を終え、とても穏やかな気持ちでいます。温かく迎え、支えてくださった全ての方に、改めて御礼申し上げます。「いずみの園」で学んだことを活かし、今後とも頑張っていきたいと思えます。ありがとうございました。

※(編集部より) 西倉さんは、2012年11月の全国社会福祉法人経営者協議会(厚生労働省「老健事業」委託先)の研究協力員(日本社会事業大学大学院生)として当園に調査に見えました。今後のご活躍をお祈りしています。

## 事業内容ワンポイント説明



訪問看護課 課長 有隅たまき

### Q. 定期巡回の看護について

A. はじめに、訪問看護ステーションサービスの内容を説明します。ステーションから看護師や理学療法士などが利用者様のご家庭に訪問し病状や療養生活を看護師・理学療法士などそれぞれの専門家の目で見守り、判断に基づいたケア・アドバイスを、24時間365日対応し、在宅での療養生活が送れるように支援しています。

当ステーションは、2012年5月から定期巡回・随時対応型訪問介護看護「連携型」のサービスも開始しています。業務内容は同じですが、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所との情報交換や連携を密に行うことにより利用者様の日中・夜間の情報及び生活の全体像が把握でき異常の早期発見や予防ができることが大きな特徴です。これからも、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の方々と連携しご利用者様の安心に繋がっていきたいと思います。



訪問の一場面





# チャブレン通信



堤 健生

「おはよう」 新約聖書 マタイ福音書

「おはよう」 新約聖書 マタイ福音書  
 いずみの園の近くには春の七草が見られます。せり・な  
 ずな・ごきょう・はこべら・ほとけのざ・... 何でもい  
 生えている草でもありますが、このような草に春を見出  
 していった人の心や視線を改めて思います。地にへばりつ  
 いて平凡ながらもたくましく生きていく庶民の姿でしょう  
 か。

今年4月20日にイースターを迎えました。イエスが今  
 も生きておられることを語り伝える祭りです。右記はよみがえ  
 たイエスが口にした言葉です。キリスト教は二千年前死  
 だイエスが今も生きておられると信じているのですが、そのイ  
 エスは「やあ、おはよう」と言っておはようです。「こ  
 んばんは」と言ってもよいでしょうし、いずみの園の職員  
 が廊下で挨拶する時に言う「お疲れ様です」と言い換える  
 こともできるでしょう。

日常のごくありふれた、何でもない言葉です。春の七草  
 のように特に目立つことなく生えている草のような言葉で  
 す。ごくありふれた何でもない言葉によって、私たちは励  
 まされたりつまずいたり致します。  
 暖かな季節のおとずれを温かな言葉をもって歩みたいで  
 すね。

## 園内の花木を探索

いずみの園の敷地内にはたくさんのお花が植樹  
 されています。この花木をシリーズで紹介いたします。

### ● クロガネモチ (黒鉄騎)

クロガネモチはモチノキ科の常緑高木で、5月か  
 ら6月に花が咲き、秋には真っ赤な果実をたくさん  
 つけます。しばしば庭木  
 として用いられ、いずみ  
 の園でも数本植えられて  
 います。



「クロガネモチ」が「金  
 持ち」に通じることから、  
 縁起木として、庭木として  
 好まれることもあるそ  
 うです。

九州では「なのみ」と  
 も呼ばれ、中津市の木と  
 して制定されています。

## 総合防災訓練を行いました



いずみの園総合防災訓練を  
 3月11日10:30より行いまし  
 た。  
 今年は3年前の東日本大震  
 災と同じ日であり、訓練の前  
 に1分間の黙とうを行い、訓  
 練を開始しました。  
 今年も中津市消防本部のご  
 指導のもと、「ケアマンシヨ  
 ン 聖愛ホーム」の厨房より夜間  
 に出火したという想定で、訓  
 練を行いました。  
 実際に非常ベルを鳴らして  
 「聖愛ホーム」のご利用者を第  
 2駐車場まで避難誘導をし、  
 また逃げ遅れた人を担架で運  
 ぶ訓練を行いました。  
 その後、消火訓練では消防  
 設備業者の指導のもと、第3  
 駐車場の空地において職員15  
 名が、実際に火を付けての消  
 火器での消火訓練を行いまし  
 た。

(いずみの園防災委員会)



消火訓練の様子



総合防災訓練の整列風景

## 毎月第3水曜日に地域の清掃を行っています



いずみの園では各事業所で毎月第3水曜日に  
 商工会議所主催の一斉清掃活動に参加して  
 いますが、「中央サ  
 ポートセンター」でもこの一斉清掃活動で  
 周辺区域でのゴミ拾  
 い活動を行っています。  
 この地域ではゴミを見かけることが  
 少なく、「自分の町を綺麗に」という  
 地域の方の想いを感じています。私た  
 ちもその想いの一端に加えていただき  
 たくこの活動に参加しています。  
 いずみの園の方針の一つに「地域の  
 方と共に歩み、地域の福祉拠点として  
 の役割を果たす(ローカリテイー)」  
 がありますので、少しでも地域の皆様  
 のお役に立てばと思います。  
 (中央サポートセンター)

## 2014年度の入職式が行われました。



富永理事長と新任職員

2014年4月1日(火)、20  
 14年度の辞令交付式が「いずみ  
 の園」で行われ、今年度4月1日  
 付け採用の新任職員に、富永理事  
 長より辞令が手渡されました。  
 富永理事長より「これからいず  
 みの園の職員として、誇りと希望  
 をもって仕事をして頂くことを期  
 待します。」と挨拶がありました。  
 いずみの園の職員数はこれで3  
 47名となりました。(経営企画室)

## 編/集/後/記

今年より編集を担当することになりま  
 した。どうぞよろしくお願い致します。  
 今年は桜の花が咲き始める頃、暖かく、  
 雨風も少なく、「いずみの園」近辺の桜は、  
 どうぞ見てほしいというように満開の期  
 間が長かったようです。  
 中津市は「桜ともみじの会」などの運  
 動もあり、桜の木が多く植えられていま  
 す。その桜の名所の一つである中津城で  
 は、今年NHKの大河ドラマ「重臣官兵衛」  
 人気でたくさんの人出となっています。  
 人気がたくさんあるのに「自ら活動して他を動  
 かすは水なり」とあります。人を水  
 に例え、自分が見本になれば他人は自然  
 と動くもの。率先して仕事に向かう姿勢  
 が大切であることを教えてくれます。  
 新任職員に贈りたい言葉の一つです。  
 (末)



# 中津商工会議所愛宕前会頭の講演が行われました。



講演中の愛宕前会頭

2月28日「2013 中間管理職講座」の後第8回として、「企業経営と経済人から見た福祉」を演題に中津商工会議所前会頭（愛宕自動車工業代表取締役）の愛宕久和氏の講演をいただきました。

愛宕前会頭は2013年秋の勇退まで2期6年にわたって会頭として中津経済界の先頭に立たれて活躍いただきましたが、その経験から、商工会議所の祖である渋沢栄一の「経営の本質はひとえに社会的責任にある」との言葉の紹介や、中津が生んだ福澤諭吉の「国を支えて国に頼らず」などの名言を引用しながら、社会発展・社会貢献の根本は「私」にあることを強調されました。

続けて、ご自身が10代のころから携わってきた会社の理念として「安全と流通を創造する」で社会貢献していくことが大切であること、めざすのは「エグゼレント・カンパニー（超優良企業）」であり、そのためには企業理念がしっかりとっていないとできないことについてもわかりやすくお話しいただきました。

36年目に入るいずみの園についても、特養のアットホームな雰囲気や24時間介護・看護サービスの先駆的实施についても評価され、地域社会における福祉の役割について付加価値を高めていく必要性について期待を述べられました。



講演の様子

当法人理事長はじめ受講した主任以上の職員（50人は、愛宕前会頭が強調された「経営理念」と「地域貢献」の大切さをあらためて確認したところです。

ありがとうございました。

(経営企画室)

# ワークセンターシャローム開設1周年



入所式の様子

2013年4月より、ワークセンターシャロームは、障がい者の就労継続支援事業A型・B型として開設されました。利用者・職員が共に創意工夫を行い「障がいのある人の働きたい」という希望に応える事業所としてスタートしました。1年を経過してほぼ順調に運営がなされ、昨年12月には、A型利用者1名が、希望職種である事務職への「一般就労」が決まりました。

また、今年1月から、B型事業としてのシャローム農園がすこし大きくなりました。ヨハネ館の後ろの空き地（10号線の側道に面した）300坪の農地を、「収益開墾園」から無償で貸与されました。シャロームの隣の農園だけでなく、新しい農地でも野菜を供給していきます。（写真左）

こうして年度末の3月には、「利用者総会」を開催し、作業会計収支報告や2014年度の事業方針の説明を、利用者の方へ行いました。

2年目を迎えた4月1日には、新規利用者4名（A型2名、B型2名）の方が利用開始され、「入所式も無事に終えることができました。（写真左）

シャロームもA型10名、B型12名になり、笑顔と社会人として働くことの楽しさ・厳しさを実感してもらい、B型利用者はA型へ、A型利用者は一般就労へと、本人の希望に添える様職員一同、力を合わせて支援をしていきます。

今後ともよろしくお願います。

(就労支援事業課)



農作業の様子

入居者募集中

いずみの園が高齢者のための新しい住まいを提案します。

住宅型 有料老人ホーム  
シニアレジデンス

最高のロケーションに誕生した  
自宅感覚で暮らす一戸建てホーム

全8棟

- 24時間365日安心のライフサポーター常駐
- バリアフリー構造・テレビ電話完備
- 光通信による見守りシステム
- オール電化・IHシステムキッチン
- 在宅介護サービスのご利用が可能
- 駐車場（カーポート）完備



〒871-0162 中津市大字永添 2765

<http://www.izuminosono.jp/izuminomori/>

TEL(0979)33-7070

# 介護職員 大分県指定事業 初任者研修

※旧ホームヘルパー2級研修です

どなたでも受講できます

- 取得資格：全課程修了後に筆記試験が行われ、合格者に「介護職員初任者研修修了証明書」が交付されます。

- 研修会場：いずみの園 地域交流ホーム「いずみ館」
- 実施期間：第5期 2014年6月18日(水)～2014年8月19日(火)  
第6期 2014年9月4日(木)～2014年11月18日(火)
- 募集定員：40名
- 受講費用：63,700円+テキスト代 6,300円

介護職員初任者研修の資格があれば介護の仕事に就くの有利です。

お申込み・お問い合わせは

中津総合ケアセンター いずみの園 研修センター  
☎0979-23-1616 担当：岩崎、安藤まで

受講者  
募集中  
年3回実施

あなたも介護の  
プロになるために  
学んでみませんか？



いずみの園だより

編集・発行 社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団 中津総合ケアセンターいずみの園 〒871-0162 大分県中津市永添 2744 TEL0979-23-1616 代  
<http://www.izuminosono.jp> E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp